

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	農地整備 係
事務事業名	農道等整備事業(中島2号排水路改修工事)		事業コード	31530

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした農業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	13年度
施策名	第3施策	農地の保全と農業基盤の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

神奈川県土地改良等補助金交付要綱・要領・事務取扱, 農とみどりの整備事業実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
農振農用区域内において、農業生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立を促進するため、農道等整備事業(農とみどりの整備事業 県費補助)を実施する。 事業実施年度(平成13年度~平成15年度)		当麻地区農地所有者	
		対象数	106人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
中島2号排水路改修工事 工事延長 L=378.45m 幅員 W= 0.40m 排水路改修工事 1式		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	改修率		
指標式	評価対象年度までの事業費の合計 / 総事業費 × 100		
指標設定の意図	全体事業量に対する各年度までの実施状況を把握することでの改修率を表す		

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 38	b 38	68	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額		11,560	11,560	9,000	
	人員・時間数		80時間	80時間	80時間	
	人件費		334	334	334	
	その他経費		0	0	0	
	合計	0	0	11,894	11,894	9,334
特定財源			5,780	5,780	4,500	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B:一部達成していない(100%> 80%)	
	C:達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由:

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A:適応している	理由: 当該水路は老朽化が激しく、通水等に支障をきたしている。また地元農家からの要望でもあり、早急に整備する必要がある。また県費補助を導入することにより短期間で速効性のある事業展開が可能である。
	B:一部適応していない	
	C:適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A:妥当である	理由: 水路の改修により漏水等の通水障害も減り、維持管理費が減少する。また本事業は県費補助を導入しており、歳入の安定した確保が可能であるため、経済的にも優れている。
	B:一部妥当でない	
	C:妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由: 農道や水路の機能管理については、市で行うことが地方自治法に定められているので、市で実施していくことが適当である。
	B:代替の可能性低い	
	C:代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A:満足できる	理由: 農道等整備事業の実施により、施設の機能回復及び農業の生産性の向上や農業経営の安定化につながる。
	B:一部満足できない	
	C:満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A:有効である	理由: 農道等整備事業は、農業の生産性の向上や農業経営の安定を目的としていることから、都市農業を図る上で必要であり根幹となるものである。
	B:一部有効である	
	C:有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 地元農家からの要望であり、補助事業を導入出来たため、これ以上の成果の向上は無い。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 工事費については、公共工事コスト削減を例年行っているため、改善余地はある。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	当該水路は老朽化が激しく通水等に支障をきたしており、地元農家からの要望も出ていたため、県費補助(農とみどりの整備事業 補助率県50%)を導入し早急な整備を行ったものである。また、財政状況が厳しい中、整備を円滑に進めることが出来た。 また水路改修事業を実施することにより、通水の確保が図られ、維持管理費の減少、生産性の向上、農業経営の安定化につながるものである。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点